

## ～櫻花塾ライオンキンググループに初参加～

鍛えの夏とは言え今年の夏の猛暑は特別。真昼の東京の温度はうなぎのぼり。

36℃一。最寄り駅から汗を拭き拭き辿り着くと、「暑かったですよ。」と笑顔でお出迎え。「まずは冷たい麦茶で涼んでね」と優しい先輩の皆さんに接し、ホットすると同時に初対面とは思えない出会いとなりました。

8月3日(日)、新宿区大京町にある一冊の会研究室にて、櫻華塾2014年度ライオンキンググループ8月の塾が昼・夜開催されました。昼の櫻華塾では7名の会員が初参加、夜は5名参加。大槻会長

から一冊の会の主な活動や研究室に掲げてある大先輩方並びに会員の紹介などの説明がありました。会員は全国規模なので今回は東京山の手方面、しかも世田谷を中心に塾が開催されました。

特に、今年は10月27日をもって一冊の会設立50周年を迎える意義ある年。

大槻会長は、50年間を振り返り、設立から育児、家事、その他の活動など両立を目指しながらの運営を地道に実践してきた事を思い起こし、決して華美な活動ではないけれど、開発途上国や東日本大震災支援で携わったエピソードを語られました。そして、一冊の会では、人種、学歴、職歴などのバックグラウンドを気にせず、皆平等に、一冊の会で活躍したい人達が自分の特技を生かし活動しております。

特に、来年10月25日50周年を目黒雅叙園で開催。全員参加の記念行事としていくことを確認しました。残されたあと1年2か月で今後の活動方針や内容・企画等について誰でも参画出来る未来図が語られました。

小山理事長からは、最近の一冊の会の活動の中から、三年前に起こった東日本大震災での支援活動のエピソードが語られました。中でも、東北復興を願い、被災地に「プロスペーポローニア」を記念植樹したことを紹介されました。



現在では、福島県相馬市磯部小学校、宮城県気仙沼市面瀬小学校、宮城県名取市閑上、宮城県山元町に植樹し、今後は、岩手に「プロスパーポローニア」の植樹を計画しているとの説明がありました。

「ポローニア」とは、桐の英語名で、「プロスパー」は繁栄を意味します。力強く、すくすく成長する「プロスパーポローニア」は、地域の復興と繁栄、子供たちの勇気と希望の象徴になってほしいという願いが込められています。ロイヤル部先輩の箱根参事からは一冊の会発行の「万葉」1062号で記念植樹の様子がホームページやフェイスブックで紹介されていることの説明がありました。

最後に、今回、初めて参加した会員一人一人が自己紹介を行い、歓談の中で塾を終了しました。

今後の活動も多くの方々に参加いただき、一冊の会が「見てみよう、聞いてこよう、語り合おうよ、友好の輪」のモットーをベースに多岐にわたる活動を展開し、皆の総合力で協力しながら支え合い一冊の会を運営していくことを語り合うよき機会となりました。

最後にサプライズ!(°Д°)

今日参加のメンバーの中で、今回の櫻華塾の事を万葉に書いてみたい人は？と会長からの提案。遠慮して右を見ても左を見ても手を挙げる様子がありません。全員モジモジ。私にどうですか？と、目と目が合って思わず「ハイ！」と答えてしまいました。



夜の部、ブルカを初めて着て思うこと？

万葉は全国に配信する大事な会報です。青年海外協力隊で培った度胸で初めての経験にチャレンジし、万葉を書くことに挑戦する決意をしました。大槻会長は、優しく「上手下手ではなく、真実を書く事が大事なのよ！」と私に安心を届けて下さいました。

拙い文章ですが、みなさん宜しくお願い致します。

### ～ディスカッションの開催について～

8月は、世界の平和を考える月。8月15日が巡ってまいります。平和の資源といわれる女性の資質・能力を最大限に発揮できる最大のチャンスの時です。

自分が読んだ新聞や雑誌等で感心・感動した記事を持ち寄り皆でディスカッションを致します。次回の教材は、以下のとおりです。

- クォータ制
- 2020.30 運動
- 核兵器廃絶

共々に励まし合って不戦の魂を継承しよう！と思います。  
暑い夏を元気に過ごして参りましょう。

会長 大槻 明子



文責：大内 伸代